

日本特殊陶業グループ 生物多様性に関する指針

【基本的な考え方】

日本特殊陶業グループは、生物多様性が持続可能な社会にとって必要不可欠であること、および、エネルギーや資源の使用、環境負荷物質の排出などが生物多様性に影響を与えていることを認識し、全ての事業活動において影響を低減できるよう、お取引先様や外部団体などと連携を図りながら、保全活動に取り組みます。

【主な取り組み】

1．基本姿勢

生物多様性に関連する法令等を遵守します。

2．事業所

事業所の進出、拡張、撤退において生態系への影響に配慮するとともに、全ての事業活動において、エネルギー・資源の使用量低減、環境負荷物質の排出削減および騒音・振動の発生抑制に努めます。

3．製品

省エネルギー・省資源・環境負荷物質発生低減に寄与するとともに廃棄時のリサイクルのしやすさなども考慮した製品の開発に努め、市場に提供します。

4．調達

生物多様性に配慮したグリーン調達を推進するとともに、お取引先様にも生物多様性への理解と協力を求めます。

5．意識

生物多様性に対する全従業員の意識を高め、従業員自らが継続的に保全活動に取り組めるようにしていきます。

(2013年4月1日制定)